

Governor's Monthly Communication

Contents

- 1 地区ガバナーメッセージ
- 3 地区ガバナーエレクトメッセージ
- 4 地区担当委員会委員長挨拶
- 7 コーディネーターニュース
- 8 2016-17年度派遣交換学生募集



2015-16年度
国際ロータリー会長
K.R.ラビンドラン
2015-16年度 地区ガバナー
佐藤 芳郎



サンパウロ国際大会に参加して

「あいことばは
Enjoy Rotary」

国際ロータリー 第2690地区
2015-16年度 地区ガバナー
佐藤 芳郎
Yoshio Sato

時差12時間の地球の裏側サンパウロは快晴の初冬、朝夕は10℃くらい日中は25℃程度。直射日光下では汗ばむほど暑いのですが空気が乾燥しているので、日陰では汗が引く快適な気候でした。



会場外観



会場内部

6月6日、2014-15年度RI国際大会本会議が開幕し、ホテルから専用シャトルバスで会場に到着。大会SAAを務める倉吉RCの伊藤パストガバナーのご案内で、大会登録の手続きをして入場証をもらってから、本会議場に着席しました。会場は巨大コンベンションホールを半分に仕切って、一つを友愛の広場に、残りに2万人以上が着席可能と思われる広大な本会議場を設営してありました。この会場は後方の席を

除いては、チラホラと空席があるだけの大入り状態で、大変な熱気を感じました。松本直前ガバナーや森本パストガバナーにはお会いできたのですが、地区内から参加されているはずの皆さんには残念ながら会場が広すぎてお会いできませんでした。

初日の本会議は、大会実行委員長、市長、知事の歓迎挨拶に続いて、恒例の国旗入場式があり、各国参加者が自国の国旗入場時には起立して自国をアピ



伊藤バストガバナー



RI会長・RI会長エレクト

(米国テネシー州チャタヌーガRC)が、RI会長ノミニーに選出されました。2年ぶりの米国出身の会長ノミニーは少し緊張の面持ちでしたが、意欲満々の受諾演説は大変頼もしく聞こえました。

ールするので大変賑やかでした。開催国ブラジル国旗入場で沸いた後、ロータリー旗が入場してゲイリー・ホアンRI会長の挨拶とご家族の紹介があり、本年度RI会長の人柄がよく分かる演出でした。世界各地で催されたロータリーデーの様子が紹介され、またEndPolioのトーチが各地を引き継がれて、最終目的地の国際大会に到着し、ホアン会長に託されました。最後にサンバやバイオリン演奏等のアトラクションが登場し、和気藹々ムードの一日目を終了しました。当日夜には本場のサンバ・カーニバルが催され、迫力満点のショーでした。

2日目は、G. ホアンRI会長から本年度RI役員と元会長の紹介や、数々のゲストの基調講演等と種々の分科会が実施され、ロータリーの本質を見直す日でした。

6月8日には、ロータリー財団関係の紹介とポリオ撲滅等の講演があり、R財団のポリオ撲滅に向けた「あと一步(This close!)」の大切さを実感することができました。またこの日にはK. R. ラビンドランRI次年度会長の主催するリーダーシップ昼食会が開催され、次年度RI役員と次年度地区ガバナーなどが紹介され、2015-16年度に向けて気合いの入った昼食会となりました。

最終日の6月9日には、次年度RI役員と会長ノミニーの選挙があり、私は地区内67クラブを代表する選挙人として出席させていただきました。G. ホアンRI会長が議長を務めて、会場に賛否を問い、賛成絶対多数でジョン・F・ジャーム氏

この後、小沢一彦元RI理事・元R財団トラステイヤー・米山記念奨学会理事長とイアン・ライズリー氏のお二人が2016年ソウル国際大会共同委員長として登壇され、本会議場で楽しくソウル国際大会への参加を呼びかけられました。この日にはソウル国際大会参加推奨昼食会が催され、共同委員長のお二人に加え、韓国駐ブラジル大使や韓国人歌手も大会参加を勧奨しました。同日午後には閉会式が開催され、4日間の華やかな国際大会はあっという間に終了し、なかなか経験できない4泊8日のブラジル旅行を楽しみました。

地区内ロータリアンの皆さまには、ぜひ配偶者の方同伴で国際大会にご参加いただいて、ロータリーの国際的な広がりや奉仕活動の深さを実感していただきたいと存じます。幸い、本年度は来年の5月28日から隣国の韓国ソウルで国際大会が開催される予定です。当地区の渡辺元RI理事が「日韓親善委員会委員長」にご就任されておられ、また小沢元RI理事が「RIソウル国際大会共同委員長」として日本から1万人参加を呼びかけられていることでもありますので、奮ってソウルへ出かけていただきたいと期待しております。

ぜひ、来年ソウルでお会いしましょう!



トーチの入場(エンドポリオ)



韓国大会



会員増強あれこれ

地区ガバナーエレクト

庄司 尚史 (境港 RC)

国際ロータリーは200の国と地域に、約120万人のメンバーを擁しています。130万人を目標としています。ほぼ横ばいの状態が続いています。日本の会員数は、現在約8万8千人ですが、ピークと比べて3割減っています。この近年は横ばいで底を打った感があります。国内約2300のロータリークラブが増強で苦戦をしていると想像できます。

第2690地区は、かつて4000人いた会員が、3000人になり、なんとかそれを維持しています。毎年のガバナーの最重点目標が、増強であり、その成果だと言えます。

増強でのポイントの一つが、退会防止です。第2690地区ではこの3000人をキープしている間で、600名以上の退会者を数えます。会社の都合で、転勤等はやむを得ないのでしょうが、ロータリーに見切りをつける方がかなりいらっしやると言わざるを得ません。

ロータリーの調査によると、ロータリークラブ入会の理由として「地域社会への貢献」が一番多かったようです。そういう希望にクラブが答えていない現状があると言えます。入会したが何をしているかわからない、参加しようと思う事業が見当たらないという声も聞きます。会員増強がうまくいっているクラブは、新入会員のフォローをしっかりとされています。新人時代にきっちりロータリーの活動を教えてあげることは重要です。一度、新人会員になった目線で、クラブ活動を見てみましょう。まず例会です。食事はどうか？ 席が固定化していつもとなりのメンバーが同じになってないか？ 会長時間、卓話でロータリーの情報があるか？

例会出席率が低下したら要注意です。次は、会員間の交流、つまり親睦の機会が十分かどうか大切です。ロータリーの魅力は、多様な人々と知り合い、「好意と友情を深める」ことが一番でしょう。私は、ロータリーで得た友人からの情報、アドバイスが、仕事に役立った経験がありますし、職業奉仕につながっています。社会奉仕は、ロータリーはさまざまなプログラムを持って「世界によいこと」をしていますし、それぞれのクラブは独自の「地域によいこと」を展開しています。ロータリーを知って、ロータリーを好きになりたいものです。そうすれば仲間を増やしたくなります。

例えば、仮にロータリークラブが、野球チームだとしたら？ クラブリーダーの皆さんはどのようにして、チームの戦力を維持、強化しますか？ ポジション、打順、先発ピッチャーを誰にするか？ 戦術をいろいろ工夫するということはあるかもしれませんが、新戦力の加入は当然考えるでしょう。もちろん、練習を重ね、一人ひとりの技量の向上を図ることは当然です。ロータリーライフもいろいろ役割を担当することにより、クラブでの存在感が涵養されます。佐藤地区ガバナーの「あいことばは Enjoy Rotary」を実感しましょう。そのためには、心許せる仲間が多いことが望ましいと思います。ですから「いつも会員増強」なのです。

担当地区委員長挨拶



会員増強・会員選考・
職業分類委員会委員長

宮下 附一竜

2015-16年度会員増強・会員選考・
職業分類委員会委員長を務めさせて
いただきます宮下附一竜と申します。どう

ぞよろしく願い申し上げます。

さて、8月は会員増強・拡大月間ですが、奉仕の理想を推進するために、会員の増強が最重要課題であることは論を待ちません。しかし、その実行は大変困難であることも事実です。本年5月に行われた会員増強セミナーにおいて、第2750地区市川伊三夫パストガバナーは「人生は感動を求め旅だ。友達を増やせ。ロータリアンを増やせ。」と情熱的なお話をされました。一人でも多くの人にロータリーに入会していただき、人生の感動を感じていただきたいと思います。



地区雑誌・広報委員会委員長

高橋 隆一

各クラブが取り組んでいるプロジェクト
を広報するにあたって、ロータリアンの
皆さんにあてた組織内向けと、もっと幅

広く一般の皆さんを対象にした対外向けの二通りがあります。

活動のカギを握るのは、いかにタイムリーに新鮮な情報を収集、発信するかですが、その新しい担い手になっているのが電子媒体でしょう。「友」誌をはじめとした各媒体の電子版や各クラブのホームページ、フェイスブックなどがどんどん媒体力を高めています。

雑誌の活用方法も同じ状況下にあるのではと考えます。これらを踏まえて「地区雑誌・広報委員長会議」を8月2日に二神典子・友誌編集長を招いて開きます。各クラブの取り組みを伺い、今後の展開に生かしたいと存じます。



職業奉仕委員会委員長

小池 将文

ロータリー五大奉仕のうちの職業奉仕は、ロータリーの真髄といえる奉仕活動で、各自の職業の社会的価値を高めるために努力することですが、ロータリー活動としてはどのようなことをすればいいのかわかりにくい一面もあります。各ロータリークラブでは、職業奉仕活動の一環として「我等の生業」を合唱し、「四つのテスト」を唱和しているものと思います。この他に、各クラブでどのような取り組みが行われているか、またこんな活動をしてみたいなどの取り組み事例とアイデアを調査したいと考えています。その際は、ご協力方よろしく申し上げます。



社会奉仕・RCC委員会委員長

野瀬 洋輔

それぞれのロータリークラブで実施している社会奉仕活動はさまざまですが、すべてのプロジェクトに共通していることは、地域のニーズに応えようとしていることです。

クラブが社会奉仕プロジェクトで成果を上げれば結果として、その地域社会に貢献でき、同時にロータリーに対するイメージも良いものになります。

地域社会の中でロータリーが好ましい存在として捉えられれば、ロータリーの会員基盤も充実し、発展してだけでなく、組織としてのロータリーの力を高めることにもなるのではないかと思います。

それぞれクラブごとのテーマを、会員全員で理解共有し実践いただきますようご協力お願い申し上げます。



国際奉仕委員会委員長

山本 敬史

国際奉仕につきましては、各クラブ趣向を凝らしさまざまな意義ある活動を行っておられることと思います。しかし、クラブの規模等にもよりますが、非常に難しい部門であることもお聞きをしておりますし、また事実でもあります。そのような中、他のクラブと組んでの国際奉仕、他のクラブ、あるいは他団体への協力、また寄付をすることにより、財団を通しての国際奉仕等、小さなことからでも、そして工夫をすることによって可能となる国際奉仕もあるはずで

す。皆さまのクラブにおかれましても、より活発な国際奉仕を行い、本年度のテーマ「世界へのプレゼントになろう」を実践してくださいよう心よりお願い申し上げます。

皆さまのクラブにおかれましても、より活発な国際奉仕を行い、本年度のテーマ「世界へのプレゼントになろう」を実践してくださいよう心よりお願い申し上げます。



米山記念奨学会委員会委員長

安井 英規

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、1952年東京ロータリークラブが奨学事業の構想を立案し、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する目的で設立された民間最大の団体です。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという当時のロータリアンたちの強い願いが込められています。

6月21日に指定校選定委員会を開催し14校を指定しました。新規採用枠19名の2倍38名を募集して来年1月に面接選考を行います。今年度も優秀な奨学生を採用していく所存ですので、会員皆さま方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

担当地区委員長挨拶



青少年交換委員会委員長

仁木 壯

青少年交換委員長を務めさせていただきます仁木壯です。よろしくお願い申し上げます。青少年交換プロジェクトは、人生を変えるような貴重な海外体験を若者に味わってもらうことを通して、国際理解と親善を進め平和の土台を築く、ロータリーらしいプロジェクトです。皆さまのクラブの地元でチャレンジしたいという若者が現れましたら、皆さまのクラブの後押しによって、そのチャンスを与えてあげていただきたいと思います。一方、海外から若者をクラブぐるみで受け入れ、草の根の国際交流によりクラブの国際感覚を高める良い機会にもなるでしょう。この事業により毎年8000人の交換学生が海外に渡り80カ国で生活しています。現在派遣学生を募集中です。詳しくは裏表紙をご参照ください。



青少年奉仕委員会委員長

岡崎 世作

青少年が被害者となる事件、また加害者となる事件が、最近数多く報道されています。私どもの地域、そして身近なところにも、数多くの問題が間違いなく存在しています。2010年規定審議会で、正式に第五奉仕部門として「新世代奉仕」が承認され青少年交換、奨学生、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者育成プログラムなどを通じて才能と熱意を呼び起こし、奉仕と責任感を育てることを目的とし承認されました。今年度の委員会名は例年とは異なり「青少年奉仕委員会」です。青少年にかかわるさまざまなプログラムを連携させ、若い人々の指導者および善良な市民としての資質を伸ばす活動を進めていきたいと存じます。皆さまのご協力とご参加をお待ちしております。



インターアクト委員会委員長

光吉 宏

インターアクトとは12歳から18歳までの青少年または高校生のためのロータリー提唱の奉仕クラブで、楽しく意義ある奉仕プロジェクトに参加する機会を青少年に与えるものです。

また、インターアクターは奉仕活動を通して次の事柄の重要性を学びます。

- ①指導力と優れた人格の育成。 ②他者を尊敬し、進んで助ける態度。 ③各自の責任を果たすことや、一生懸命努力することの価値の理解。 ④国際理解と親善の推進。

今年度は7月末に晴れの国岡山で1泊2日の地区大会を開催いたします。各地のインターアクターが一同に集まり交流を深め活発に意見交換を行います。インターアクトの発展のためロータリアン皆さまのますますのご支援・ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



ローターアクト委員会委員長

國富 郷太郎

本年度は、新世代奉仕が第五の奉仕として5年目、新世代奉仕から青少年奉仕に戻って2年目をむかえます。その一角としてのローターアクト委員会が、アクトメンバー一人ひとりに貴重な体験を通して成長リーダーシップを身につけ、日本の明日を託す若者としての人材育成ができるよう、我々ロータリークラブが援助し支援していくことは大変有意義なことだと思います。

しかしながらローターアクターの減少、RAクラブの消滅までが進行し、今年度の地区内ローターアクトは1クラブ減少して7クラブでのスタートとなりました。我々ロータリーも地区内ロータリークラブへ情報発信をしてローターアクトへの関心を一層深めていただく努力をしなければなりません。当委員会へのご支援ご指導をぜひとも賜りますようよろしくお願い申し上げます。



地区ロータリー財団委員会委員長

伊藤 文利

「世界に、地域に良いことをしよう」を合言葉にロータリアンは日夜一致団結し、汗を流しながら実に多岐にわたる奉仕活動を毎年実施し、社会貢献を積み重ね、やがて110年の歴史を迎える。その中心的役割を果たすのがロータリー財団である。財団は会員に資金調達(寄付)をお願いし、同時にその資金を上手に使い全世界に各種奉仕活動を展開するというまさにロータリーを動かす車の両輪の役目を果たす。地区補助金を始め、ポリオ撲滅運動、財団奨学生、ロータリー平和センター等々に私たちの寄付金が活用され、世界平和構築の一助となっている。我々は地区補助金を最大限に活用し、市民の幸せと同時にロータリー公共イメージ向上に役立つよう今年も頑張りましょう。



地区補助金小委員会委員長

藤田 成美

福祉と補助金について私見を述べさせていただきます。

福祉とは、「より良く生きる」ための安定した環境や条件で、「社会福祉」と「地域福祉」に大別されます。また、その担い手によって、自助・共助・公助に分類されます。社会福祉は、生活困窮者、高齢者、児童、障害者、母子など、一定の社会的ハンディに対する公助が中心で分野別に制度化されていますが、地域福祉は、各地域において、福祉・保健・医療・教育等に関するさまざまなニーズに対して、総合的に支援する「地域住民の・地域住民による・地域住民のための」共助を中心とした取り組みです。

「地区補助金的人道的プロジェクト」は、こうした地域福祉の取り組みを後援する素晴らしい制度だと思います。皆さま方の「地域への熱い思い」と「積極的なご参加」を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

担当地区委員長挨拶



地区学友委員会委員長

佐藤 治男

本年度より、学友の定義がすべてのロータリープログラム参加者が含まれるように広がったことを受け、地区ロータリー財団の学友小委員会は地区学友委員会と変わりました。

ロータリー活動に参加経験がある学友は、ロータリーにとって有力な入会候補者となるだけでなくロータリー活動や奉仕をサポートできる人材です。これらの学友との関係を構築・維持、また学友に関する事柄について、クラブを支援します。また、財団の「未来の夢計画」に基づくグローバル補助金ならびに地区補助金による地区奨学生派遣事業により、ロータリーの世界理解と平和を促進するという使命を遂行する優秀な人材を、専門学力・語学力・ロータリーへの理解等の選考基準によりその機会を提供したいと思います。



職業研修チーム小委員会 (VTT) 委員長

春木 茂

『職業研修チーム小委員会 (VTT)』のVTTについて、ガバナー事務所からの資料により、少し紹介する。職業研修チーム Vocational Training Team VTTは、研究グループ交換GSEプログラムの「未来の夢計画」次世代プログラムとして誕生。海外で専門職業に従事する人たちに研修を提供したり、研修を受けるためチームが海外に赴いたりできるのが職業研修チームVTTである。VTTは、地区補助金等々のすべての補助金で実施できる。チーム構成は、少なくとも2名のメンバーとロータリアンのチームリーダー1名で構成される。

佐藤芳郎地区ガバナーの方針の下で、VTT小委員会が充実したものになるよう活動いたします。



資金推進ファンド・レイジング小委員会委員長

小川 清弘

ロータリー財団地区目標は、ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、ポリオ・プラス、大口寄付、ロータリー・カードへの寄付と財団の活用であります。今年度からRI会長方針に沿い、今までの特別月間に6重点分野が組み込まれ、雑誌月間、R理解推進月間等が無くなり、大幅に変更されました。ロータリーの最も成功した奉仕活動は、重点分野に該当する傾向があり、この分野の推進が望まれていることが伺えます。各地のロータリークラブが地元のニーズに応じた独自の活動を行っている一方、ロータリーは世界全体で重点分野を定め、できるだけ大きな活動成果をもたらす努力もしています。この目標をふまえ、資金推進小委員会は、寄付金の地区目標達成に、皆さま方のご理解とご支援をお願いいたします。



地区財団資金管理小委員会委員長

田中 一宏

地区財団資金管理小委員会委員長を担当させていただくことになりました田中です。よろしく願いいたします。

地区、クラブの活動にロータリー財団の資金が地区補助金として多く活用されています。

地区補助金は、ロータリー財団に申請し、地区に一括して補助金が支払われた後、地区がクラブに資金を支給します。この補助金は地区やクラブの幅広いプロジェクトや活動にご活用されています。

地区財団資金管理小委員会はその補助金を管理することが役目です。当然のことながら、補助金は所期の目的に沿って適切に使用されなければなりません。補助金小委員会と協力してその責務を推進することとなっております。

皆さま方のご理解、ご協力をお願いいたします。



ポリオプラス小委員会委員長

大和 豊子

1985年RIはポリオプラスプログラムを発表、1988年WHO・UNICEF・CDC・RIからなるGPEI (Global Polio Eradication Initiative)

が発足。1988年125カ国以上の常在国・35万例/年→2014年359例/年、インドでは2011年1月13日を最後に3年間野生株ポリオの発症がなく2015年3月27日WHOがポリオ根絶認証。常在国国家元首が監督するポリオ緊急行動計画を開始し、2015年5月6日現在23例(パキスタン22、アフガニスタン1、ナイジェリア0)となった。「ポリオのない未来をプレゼントすると世界の子どもたちに約束した。私たちは闘いを続け、必ずや勝利します」というRavi会長とともに、ポリオによる麻痺に苦しむ小児が居ない世界実現に向け行動しましょう。2015年8月23日、芝・増上寺「全国ロータリー・ポリオプラスプログラム研修セミナー」に参加して、最終目標到達のために何をなすべきか一緒に考えませんか？



新年度を迎えて(地域別会員増強計画概要)

第2ゾーンロータリーコーディネーター

金杉 誠

コーディネーターニュースを発行するようになりましてちょうど一年がたちました。皆さまご承知のように、日本には第1ゾーン第2ゾーン第3ゾーンの3つのゾーンがございます。このコーディネーターニュースは、各地区を超えて日本全体での情報共有を目指しているものですが、つい先日、北R I直前理事、杉谷R I理事、辰野地域別会員増強プロジェクトリーダーおよび3ゾーンのコーディネーターが日本事務局に集まりまして、2015-16年度地区ガバナーの皆さまからいただいたアンケート調査結果に基づきまして、地域別(すなわち日本全体の)会員増強計画の概要を決定いたしました。主な目標を下記に記します。

- 1、全クラブのうちの30%が、ロータリークラブセントラルで少なくとも15の目標を設定し、達成状況を記録する
- 2、各地区で新しいロータリークラブを少なくとも1クラブ設立する
- 3、会員の男女比を縮小するため、女性会員の比率を少なくとも2%増やす
- 4、会員の年齢層を広げるため、40歳未満の会員の比率を少なくとも2%増やす
- 5、新会員推薦者の数を少なくとも1%増やす
- 6、会員維持率を少なくとも1%増やす
- 7、各クラブで会員の50%がMy ROTARYに登録するよう奨励し、My ROTARYの登録者数を増やす
- 8、全クラブの30%が、ウェブサイト、ソーシャルメディア、広報関連資料を更新し、もっと生き生きしたものにする
- 9、全クラブの30%が、「クラブ評価」を実施し、多年度にわたる会員増強戦略を立てる

もちろん各地区ガバナーはそれぞれ地区目標を立てておられると思いますので、各地区での目標達成に向けてご努力いただきますようお願いいたします。今年度の特徴としては従来の会員増強の数値目標のみならず、ロータリークラブセントラルやMy ROTARYへの登録の数値目標が設定されていることでもあります。これはラビンドランR I会長の示された会長賞の必須項目に「15のクラブ目標をロータリークラブセントラルに入力する」とあることに対応したものです。いずれにしろR Iは戦略計画の実践をロータリーのホームページの利用を促進することによって達成しようとしていることの表れでもあります。各地区におかれましてもITセミナー等を開催して会員全体へのご理解を賜るようお願いいたします。私たちロータリーコーディネーター、ロータリー財団コーディネーター、ロータリー公共イメージコーディネーター、恒久基金大口寄付アドバイザーは、皆さま方の地区の研修にも喜んで参加いたしますので、いつでもお気軽にお声をおかけください。





募集要項

【実施要項】

留 学 先 アメリカ合衆国、カナダ等
 留学期間 2016年8月より1年間
 人 数 3名

【応募資格】

1. 2016年8月末時点で、15歳から18歳未満の学生
 2. 異なる文化を受け入れることができ、新しいことに挑戦する意欲を備えていること
 3. 学校長の推薦があること
 4. 保護者の同意があること
 5. 地元ロータリークラブの推薦があること
- ※応募したい方は、お近くのロータリークラブ又はロータリークラブ会員にご相談を。

【応募期限】 2015年9月15日(火)

【応募方法】

応募願書に必要事項を記入して、地元のロータリークラブを通して、国際ロータリー第2690地区青少年交換委員会に提出。願書はホームページからダウンロード可。

【選考方法】

英語の筆記試験及び面接試験(英会話を含む)

【学生の費用負担】

留学先への往復費用・保険・手続費用は自己負担。往復費用についてロータリークラブから30万円の補助あり。留学先での生活費及び通学費は留学先のロータリークラブが負担。

【後 援】

鳥取県・島根県・岡山県 各教育委員会

【お問合せ先】

国際ロータリー 第2690地区青少年交換委員会 電話086(201)2690

※詳しくは「国際ロータリー」→「青少年交換」で検索を



国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

長期青少年交換学生募集



異文化交流を通じて、
 未知の自分の可能性を
 発見してみませんか。

■ロータリーとは

ロータリーは地域社会のボランティアから成るグローバルネットワークです。様々な事業や専門職務のリーダーであるロータリーの会員は、世界中で人道的奉仕活動を行い、職業における高い倫理規範を奨励し、国際親善と平和を築くために尽力しています。非識字、疾病、飢餓、貧困、きれいな水の不足、環境問題と言った課題に取り組み、世界で33000を超えるクラブが様々な活動を展開しています。



ROTARY INTERNATIONAL <http://www.rotary.org/ja/Pages/ridefault.aspx>



世界への
 プレゼントになろう

2015-16年度
 国際ロータリーのテーマ

2015-16年度
 国際ロータリー会長
K.R.ラビンドラン

2015-16年度 地区ガバナー
佐藤 芳郎

〒700-0821
 岡山市北区中山下 1-5-27 スカイパーキング 3 階
 TEL : 086-201-2690
 FAX : 086-231-9580
 E-mail : sato-2690@ray.ocn.ne.jp

